

No	施策名	事務事業の目的	H29決算額(円)	事務事業評価					事務事業の現状・課題	平成30年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果	令和元年度以降の課題解決に向けた取組方針(今後3~5年程度をイメージ)
	事務事業コード		内 直接事業費	1	担当部課名						
	事務事業名		内 人件費	2	評価責任者氏名						
			H30決算額(円)	3	妥当性評価						
			内 直接事業費	4	有効性評価						
	内 人件費	5	効率性評価								
1	交通基盤の整備	各種協議会と連携し、幹線道路等の渥美半島での必要性の認識を高め、地元・関係機関と相互に協力、調整をとりながら整備の早期実現を図る。	36,317,771	事務事業評価					広域幹線道路の現状を把握するため、調査・研究としての研修会や現地視察を実施する。関係市町、関係機関、市内関係部署との連携を密にし、広域幹線道路の早期整備に向けた計画確立が課題。	各種協議会・期成同盟会等により、国・県等に早期整備の要望を行った。	渥美半島における広域幹線道路について、研究を重点的に行うと共に、その他各種協議会・期成同盟会の活動等により、国・県等への要望活動を行い早期実現を目指す。
	40101010		2,666,056	1	建設部 建設企画課						
	広域幹線道路整備促進事業		33,651,715	2	村上 知成						
			29,481,411	3	極めて高い						
			1,118,289	4	極めて高い						
	28,363,122	5	普通								
2	交通基盤の整備	市民生活や産業活動において重要な都市基盤である市内幹線道路の道路交通における利便性、安全性、快適性等の向上を図るため計画的な整備を行う。	96,491,913	事務事業評価					交通量が多く交通弱者安全確保が急務である1・2級市道において国庫補助等を活用しながら集中的・計画的に道路改良を推進する必要がある。また、田原市道路整備プログラムに基づき整備対象路線の優先路線を可能な限り国庫補助等を活用し計画的な整備が必要である。	2路線の整備路線について集中的に整備進捗を図り、1路線は新たに歩道を延伸し一部供用を開始した。新規3路線の測量調査設計を行った。	公共施設整備に係る周辺道路整備の着実な推進を図る。
	40102010		63,622,790	1	建設部 建設企画課						
	幹線道路整備事業		32,869,123	2	村上 知成						
			242,175,101	3	極めて高い						
			215,170,563	4	極めて高い						
	27,004,538	5	高い								
3	交通基盤の整備	老朽化した橋りょうや河川の改修に伴う橋りょうの改修を行い、地域の道路網の安全性・信頼性を確保する。	34,648,761	事務事業評価					道路・河川の拡幅整備に伴い、また、橋りょうの老朽化の対応も併せ、橋りょうの架け替えが必要となる。迂回路や整備ヤードについて、関係者と調整を要する。	道路拡幅歩道設置に伴う歩道用橋りょう新設の設計を行った。	橋りょう整備に伴う、迂回路、整備期間について、関係者と綿密に調整を行うことにより、交通の混乱を避けながら計画的な事業の進捗を図る。
	40102020		29,561,800	1	建設部 建設企画課						
	橋りょう整備事業		5,086,961	2	村上 知成						
			13,189,416	3	極めて高い						
			6,795,960	4	極めて高い						
	6,393,456	5	普通								
4	交通基盤の整備	愛知県が実施する公共事業に必要な事業用地の円滑な取得を図る。	5,523,696	事務事業評価					事業用地の円滑な取得を図るため県用地課と連携を強化し、交渉期間の短縮を図る。県の用地取得予算の確保が困難であり、事業間で調整することで予算執行できるようにする。	事業間の調整等について、県用地課と連携を強化して当初予算分の予算執行ができた。	県用地課との連携を強化することにより主要地方道豊橋渥美線、都市計画道路田原中央線等における事業用地の円滑な取得を図る。県の用地取得予算の確保と事業間での調整がスムーズに執行できるようにする。
	40102030		3,240,034	1	建設部 建設企画課						
	事業用地取得事務(国県道)		2,283,662	2	村上 知成						
			6,150,810	3	高い						
			2,682,006	4	高い						
	3,468,804	5	普通								
5	交通基盤の整備	安心・安全な生活環境の改善を図るため、地域からの要望をもとに、緊急性、事業効果等を考慮して必要性の高い生活道路から整備を行う。	212,480,576	事務事業評価					道路整備計画に定めたとおり、地域からの多くの改良要望需要に対し適切な事業評価に基づく計画的な対応が必要である。	有効に財源を活用し、7路線の整備進捗を図った。また、緊急車両の円滑な通行や防災・減災など新たな社会事情を鑑み、生活道路の整備を行い、生活環境の改善を図った。	地域からの要望について、整備優先順位の評価基準に基づき優先度を検証し、計画性を高めた投資と効果の早期発現を目標に、予算規模と整合を図った計画立案を行う。
	40103010		197,201,914	1	建設部 建設企画課						
	道路改良事業		15,278,662	2	村上 知成						
			102,882,224	3	極めて高い						
			82,505,360	4	極めて高い						
	20,376,864	5	普通								
6	交通基盤の整備	歩行者・自転車等利用者の安全確保、歩行者・自転車空間の快適性の向上及び円滑な自転車交通の確保を図るため、歩道設置等の交通安全施設整備を行う。	82,807,995	事務事業評価					平成24年度緊急合同点検対策整備可能箇所への対応が完了したが、新たに滋賀県大津市の事故に端を発する緊急対策に今後取り組む。	通学路、公共施設周辺の道路を整備し、供用開始した。また防護柵設置や路面標示により通行の安全性を高め、円滑な交通を実現した。	交通安全プログラムの早期実行により、通学路の安全確保に努める。自転車ネットワーク路線を可能な限り国庫補助等を活用し計画的に整備する。保育園散策路利用路線の安全確保に努める。
	40103020		68,375,019	1	建設部 建設企画課						
	交通安全施設整備事業		14,432,976	2	村上 知成						
			74,225,533	3	極めて高い						
			62,808,570	4	極めて高い						
	11,416,963	5	高い								
7	交通基盤の整備	道路交通の安全確保及び快適性の向上を図るため、未舗装道路の舗装新設及び老朽化した道路の舗装改築を行う。	29,163,960	事務事業評価					舗装設計期間10年を大幅に超えた多くの昭和年代築道路は、交通量にかかわらず経年劣化・老朽化が著しく、大幅な改修を必要とする路線が多くなっている。1級市道は路面性状調査の結果を受け、14路線の舗装改修が必要である。	1級市道の快適性向上に向けて取り組んだ点検・改修計画に基づき、国庫補助等を充てて重点的に整備を進めた。	舗装長寿命化修繕計画に基づく確実な整備推進を図る。
	40103030		23,855,120	1	建設部 建設企画課						
	道路舗装事業		5,308,840	2	村上 知成						
			63,625,503	3	極めて高い						
			60,349,240	4	極めて高い						
	3,276,263	5	極めて高い								

No	施策名	事務事業の目的	H29決算額(円)	事務事業評価		事務事業の現状・課題	平成30年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果	令和元年度以降の課題解決に向けた取組方針(今後3~5年程度をイメージ)
	事務事業コード		内 直接事業費	1 担当部課名				
	事務事業名		H30決算額(円)	2 評価責任者氏名	3 妥当性評価			
			内 直接事業費	4 有効性評価	5 効率性評価			
			内 人件費					
8	交通基盤の整備	安心・安全な生活環境の改善を図るため、道路の排水改良等の局所的な整備を行う。	16,248,257	事務事業評価		排水施設の老朽化に伴う改修や沿道利用用途の経年変化に伴う改良など多くの要望が出され期待されている。	校区要望に上げられた複数の要改善箇所の実現に取り組んだ。	道路整備計画に定める事業評価に基づき確実な整備促進を図る。
	40103040		13,281,840	1 建設部 建設企画課				
	道路局部改良事業		2,966,417	2 村上 知成				
			11,353,601	3 極めて高い				
			10,259,648	4 高い				
	1,093,953	5 普通						
9	交通基盤の整備	災害時の避難及び救急活動に支障をきたす恐れのある道路について、建物の建設時にセットバックした部分を整備して狭あい道路の解消を図る。	8,072,099	事務事業評価		平成25年度に要綱改正をしたことで、迅速に対応できるような事務体制となり、事務の効率性は向上したが、申請件数がそれほど増加していない。	測量士、土地家屋調査士等の関係者に制度の周知を行い、制度活用者の増加に努めた。	引き続き利用者にとって使いやすい事業体制になるよう関係者の声を集め、場合によっては要綱の見直しの検討を行なう。また、引き続き制度の周知を続ける。
	40103050		5,339,181	1 建設部 維持管理課				
	狹隘道路解消事業		2,732,918	2 伊藤 敏和				
			5,067,797	3 極めて高い				
			4,520,820	4 極めて高い				
	546,977	5 普通						
10	交通基盤の整備	公有地境界を整理することで行政の管理区域が明確となり、境界付近でのトラブルの解消を図る。	17,543,415	事務事業評価		公共用地と民地との境界を測量し、管理区域を明確化することにより、境界トラブルの解消を図ることを目的としているが、用地測量、登記等に多大な時間が必要である。	公共囑託への測量委託を行うことにより、事務の時間が短縮されたため、住民へ迅速な対応ができ、一定の成果が出ている。	トラブルを未然に防ぐことはもとより、境界トラブルの解消について、より迅速に対応できるような事務体制を検討する。
	40104010		14,102,704	1 建設部 維持管理課				
	公有地境界確認事務		3,440,711	2 伊藤 敏和				
			17,015,668	3 高い				
			9,806,637	4 高い				
	7,209,031	5 普通						
11	交通基盤の整備	道路法に基づき市道の管理を行い、道路の良好な環境と安全確保に努める。	185,323,205	事務事業評価		常時健全な道路環境を維持するため、老朽化している道路ストックの点検及び計画修繕の実施が課題である。	老朽化している道路照明灯について、照明灯の部分を業者によりLED化し、直接管理からリースへと管理方法を変更することにより電気料金の削減と環境負荷の低減に努めた。	道路ストックの総点検実施及び道路維持修繕計画策定により、要修繕箇所の早期発見、早期対応に努め、健全な道路環境を維持する。道路照明灯のリース化LED化により維持管理コストの軽減と環境負荷の低減に繋げる。
	40104020		158,460,111	1 建設部 維持管理課				
	道路管理事務		26,863,094	2 伊藤 敏和				
			95,519,835	3 極めて高い				
			78,383,340	4 高い				
	17,136,495	5 高い						
12	交通基盤の整備	公共用地の取得や売却等に伴う所有権移転登記等を行い適正な財産管理を図る。	7,018,650	事務事業評価		登記申請に際して、法務局から詳細な資料提出を要求されるため、常日頃から法務局との連携を密にし、業務のスムーズな進捗に努めている。また、専門的知識を要する案件、権利関係等に難題があるような事案については、知識や技術もななくスムーズな対応ができないため委託対応が必要である。	法務局との連絡を密にしたことにより登記官との円滑な関係を築くことができ、スムーズな登記申請や補正の対応ができた。	法務局との連絡を更に密にし、業務のスムーズな進捗に努める。また、専門的知識を要する案件、権利関係等に難題があるような案件については、委託をすることで早期解決及び業務の円滑な進捗を図る。
	40104030		68,230	1 建設部 建設企画課				
	登記事務		6,950,420	2 村上 知成				
			10,805,682	3 高い				
			40,772	4 普通				
	10,764,910	5 普通						
13	交通基盤の整備	市道及び公共用物(道路敷)の老朽化又は緊急を要する構造物の修繕及び主要幹線道路の草刈り等を実施し、交通の安全性・快適性の向上を図る。	197,644,638	事務事業評価		道路が経年劣化し、損傷箇所が増え、たびたび物損事故が発生している。事故を防ぐために危険箇所の早期発見が必要であるが、担当職員だけでは早期発見は難しい。	危険箇所を早期に発見するため、担当職員以外、道路パトロール員によるパトロールを実施した。通勤等において、危険箇所が確認された場合の連絡体制を職員に周知した結果、危険箇所が早期に確認できた。	危険箇所の早期発見のため、道路パトロール員を雇用し、パトロールを強化するとともに関係課及び地元自治会等との連携を図る。
	40104040		157,575,494	1 建設部 維持管理課				
	道路維持事業		40,069,144	2 伊藤 敏和				
			203,941,941	3 高い				
			161,574,476	4 高い				
	42,367,465	5 普通						
14	交通基盤の整備	市道及び公共用物(道路敷)の老朽化又は緊急を要する構造物の修繕及び主要幹線道路の草刈り等を実施し、交通の安全性・快適性の向上を図る。	46,211,172	事務事業評価		危険箇所早期発見のため、地域住民からの情報提供に対する初動体制の強化と道路パトロールの効率化が必要である。	市民からの情報や、パトロールで発見した危険箇所の情報を課内で共有し、対策等の進捗状況を可視化出来た。	集められた危険箇所情報や修繕の実施内容を整理し、必要性の優先順番を検討し、安心安全な施設改善等に活していく。
	40104060		33,869,245	1 渥美支所 地域課				
	道路維持事業(渥美支所)		12,341,927	2 前川 博久				
			62,525,578	3 高い				
			49,603,346	4 高い				
	12,922,232	5 普通						
						改善の効果	高い	
						改善の効果	普通	

No	施策名	事務事業の目的	H29決算額(円)	事務事業評価					事務事業の現状・課題	平成30年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果	令和元年度以降の課題解決に向けた取組方針(今後3~5年程度をイメージ)		
	事務事業コード		内 直接事業費	1	担当課名	2	評価責任者氏名	3				妥当性評価	4
	事務事業名		H30決算額(円)										
			内 直接事業費	1	建設部 維持管理課	2	伊藤 敏和	3	極めて高い	4	極めて高い	5	高い
15	交通基盤の整備	定期点検済みで補修が必要な橋梁等について、修繕計画に基づき修繕工事等を実施し、長寿命化を図る。	0	事務事業評価					橋梁点検を行い、橋梁長寿命化修繕計画に基づき、老朽化した橋梁の修繕を推進するが、修繕対象橋梁数も多く計画どおりに事業進捗が図れない。	国庫補助を利用して効率的に橋梁長寿命化修繕を推進した。	老朽化している橋梁については、国庫補助を利用し、長寿命化修繕を行うことにより、将来の維持管理コストの削減に努める。		
	40104070		0										
	橋りょう等維持事業		31,795,719										
			29,461,160										
			2,334,559										
16	交通基盤の整備	渥美半島の重要な交通結節点としての機能を有する三河田原駅周辺において、駅舎移転に対する支援、自動車交通の円滑化を図るための道路整備、ガーデンシティに相応しい機能と景観を兼ね備えた駅前広場整備、駅南地区を始めとする周辺地域の住環境整備等を行い、魅力ある田原市の玄関口とする。	39,053,299	事務事業評価					・本年度ラグランのオープンに伴い、三河田原駅周辺のハード整備事業は概ね完了となった。	・ラグランのオープンに合わせ、新町地区の駐車場整備工事を行った。	平成30年度に事業完了。関連事業は、田原地区まちづくり事業で実施。		
	40106030		27,861,681	1 都市整備部 街づくり推進課									
	田原駅周辺整備事業		11,191,618	2 小久保 智宏									
			11,889,486	3 高い									
			9,993,240	4 高い									
17	交通基盤の整備	市営公共駐車場が便利かつ安全に利用できるように運営、維持管理し、コンパクトシティの実現、中心市街地の活性化に寄与するものとする。	25,931,671	事務事業評価					・ABホテルの立地により、利用者は増加した。 ・近隣に民間の時間貸し駐車場ができた。 ・放置車両が出るようになった。	・H31年4月から2時間無料にして、利用増を図ることとした。	・機械の更新時に併せて放置車両への対策を検討していく。		
	40106050		21,403,064	1 都市整備部 街づくり推進課									
	公共駐車場管理運営事業		4,528,607	2 小久保 智宏									
			24,318,185	3 高い									
			21,647,553	4 高い									
18	公共交通の整備	都市機能として、集落部と市街地及び市街地内における市民等の移動手段を確保するため、路線バスの補完路線としてコミュニティバスを運行する。	8,498,395	事務事業評価					・H27年10月の再編実施により、委託料の増加、利用人数の減少が生じた。 ・バス車両が老朽化しており、更新が必要となっている。	・八王子線のコミュニティバス以外の移動手段の確保を検討した。 ・表浜線と高松線の統合、野田線からサンテバルク線への変更の検討した。	・表浜線の関係コミュニティ協議会による利用促進会議の設立を検討・実施する。 ・八王子線の代替手段の確保の実施。		
	40201010		7,036,007	1 都市整備部 街づくり推進課									
	コミュニティバス運行事業		1,462,388	2 小久保 智宏									
			53,027,064	3 極めて高い									
			48,074,876	4 高い									
19	公共交通の整備	市民等の移動手段を確保するため、市内公共交通の基幹路線である路線バス(伊良湖本線・支線)の運行を支援する。	36,224,234	事務事業評価					・路線バス利用者の減、ガソリン代の高騰による経費増により、田原市の補助金の額が増加している。 ・伊良湖支線の便数が少なく、利便性が低い。	・高校生定期補助を提案。 ・中学生・高校生向けパンフレットの作成・配布を実施。 ・元気バスを中心とした利用促進チラシの作成・配布を実施。 ・伊良湖支線増便の検討を実施。	・今後、補助金が増え続けた際の対応を検討する必要がある。本線の30分に1本から1時間に1本の試算など、長期ビジョンでの対応を運行事業者と検討していく。 ・引き続き伊良湖支線増便の検討をしていく。		
	40201020		35,131,040	1 都市整備部 街づくり推進課									
	地方バス路線支援事業		1,093,194	2 小久保 智宏									
			50,881,826	3 極めて高い									
			50,009,560	4 高い									
20	公共交通の整備	だれもが安心して移動できるまちを実現するため、関係者との連携により、市内公共交通の充実を図る。	141,461,290	事務事業評価					・H27年10月の再編実施により、委託料の増加、利用人数の減少が生じた。 ・フィーダー補助金(国)も減少している。	・八王子線のコミュニティバス以外の移動手段の確保を検討した。 ・表浜線と高松線の統合、野田線からサンテバルク線への変更の検討した。 ・第2次公共交通網形成計画の一部見直しを実施した。	・表浜線の関係コミュニティ協議会による利用促進会議の設立を検討・実施する。 ・八王子線の代替手段の確保の実施。		
	40201030		129,707,872	1 都市整備部 街づくり推進課									
	公共交通推進事業		11,753,418	2 小久保 智宏									
			132,059,956	3 極めて高い									
			124,756,303	4 高い									
21	港湾・河川・海岸の整備	馬草港、泉港、浦南河岸小型船舶施設の維持管理を適正に行う。また、県管理施設である樋門の操作業務を地元自治会へ委託し、津波や高潮などに対する安全確保に努める。	19,597,296	事務事業評価					良好な港湾施設の維持管理のため、港湾維持修繕計画に基づく計画修繕の確実な実施。また、災害時に樋門操作を迅速に行う体制づくりが課題である。	指定管理による港湾施設の良好な施設管理を行うことができた。また、樋門操作マニュアルを活用し、適切な管理体制、災害時に迅速な対応ができるよう努めた。	港湾維持修繕計画に基づき、老朽化した港湾施設の維持管理を行うとともに、港湾利用者が快適に施設を利用できるよう努める。 また、樋門操作については引き続き、職員と受託者との連携を密にし、災害時に迅速な対応ができるよう努める。		
	40301040		12,266,194	1 建設部 維持管理課									
	港湾管理事業		7,331,102	2 伊藤 敏和									
			14,857,612	3 高い									
			6,656,173	4 高い									
	8,201,439	5 普通											

No	施策名	事務事業の目的	H29決算額(円)	事務事業評価					事務事業の現状・課題	平成30年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果	令和元年度以降の課題解決に向けた取組方針(今後3~5年程度をイメージ)
	事務事業コード		内 直接事業費	1	担当部課名						
	事務事業名		H30決算額(円)	2	評価責任者氏名	事務事業評価					
			内 直接事業費	3	妥当性評価						4
			内 人件費	5	効率性評価						
22	港湾・河川・海岸の整備	排水能力不足による水害の発生を防ぐため、住民の生命・財産を守るうえで重要な河川を優先して整備する。	10,533,938	事務事業評価					多くの準用河川は断面容量不足であり、近年のゲリラ豪雨や大型台風による被害発生など整備の必要性は非常に高くなっている。	準用河川台帳からの整備優先度確認及び水害実態ヒアリング調査を行った。	主要地方道との交差河川について愛知県整備に連動して整備を進めるとともに、治水・防災対策としての河川改良を計画し事業推進する。なお、河川・水路整備方針の確立を早急に進め計画的な整備に取り組む。
	40302010		5,436,180	1	建設部 建設企画課						
	河川改良事業		5,097,758	2	村上 知成						
			49,446,337	3	極めて高い						
			41,740,400	4	高い						
	7,705,937	5	普通					改善の効果	極めて高い		
23	港湾・河川・海岸の整備	大雨等による災害を未然に防ぐため、土水路及び断面不足の水路を新設及び改良することにより、排水機能の向上を図る。	33,415,731	事務事業評価					地域の要望を基に現場の状況を確認し的確な対策を講じる必要がある。	各地区の水害発生箇所について実態ヒアリング調査を行った。	台風などによる過去の被害箇所や地域からの要望を検証し、緊急度及び必要性の高い水害防止対策を推進する。なお、河川・水路整備方針の確立を早急に進め計画的な整備に取り組む。
	40302020		24,669,351	1	建設部 建設企画課						
	水路改良事業		8,746,380	2	村上 知成						
			45,461,396	3	極めて高い						
			40,340,640	4	高い						
	5,120,756	5	普通					改善の効果	極めて高い		
24	港湾・河川・海岸の整備	洪水、高潮等による水害を防止するとともに、河川の流水機能の維持と河川環境の保全のために総合的な監理を行う。	1,979,488	事務事業評価					災害時に樋門操作を迅速に行う体制づくりが課題である。	樋門操作マニュアルを活用し、適切な管理体制、災害時に迅速な対応ができるよう努めた。	樋門操作については引き続き、職員と受託者との連携を密にし、災害時に迅速な対応ができるよう努める。
	40303010		801,090	1	建設部 維持管理課						
	河川管理事務		1,178,398	2	伊藤 敏和						
			2,699,359	3	高い						
			782,305	4	高い						
	1,917,054	5	普通					改善の効果	高い		
25	港湾・河川・海岸の整備	市管理河川及び排水路の護岸や法面等の修繕及び堆積した土砂の浚渫又は草刈り等を行い、災害を未然に防ぐとともに、河川環境の保全を図る。	29,757,317	事務事業評価					河川・排水路が経年劣化し、損傷箇所が増え、大雨時に浸水等の被害が発生している。被害を防ぐために危険箇所の早期発見が必要であるが、担当職員だけでは早期発見は難しい。	修繕箇所を早期に発見するため、担当職員以外、雨天時に道路維持囃託員による河川パトロールを実施した。通勤等において、危険箇所が確認された場合の連絡体制を職員に周知した結果、危険箇所が早期に確認できた。	危険箇所の早期発見のため、河川パトロールを継続実施すると共に効率的な修繕のため、関係課及び地元自治会等との連携を図る。
	40303020		22,916,872	1	建設部 維持管理課						
	河川維持事業		6,840,445	2	伊藤 敏和						
			35,616,968	3	高い						
			28,610,906	4	高い						
	7,006,062	5	普通					改善の効果	高い		
26	港湾・河川・海岸の整備	市管理河川及び排水路の護岸や法面等の修繕及び堆積した土砂の浚渫又は草刈り等を行い、災害を未然に防ぐとともに、河川環境の保全を図る。	24,078,262	事務事業評価					危険箇所の早期発見のため、地域住民からの情報提供に対する初動体制の強化と道路パトロールの効率化が必要である。	市民からの情報や、パトロールで発見した危険箇所の情報を課内で共有し、対策等の進捗状況を可視化出来た。	集められた危険箇所情報や修繕の実施内容を整理し、必要性の優先順番を検討し、安心安全な施設改善等に活していく。
	40303040		17,597,520	1	渥美支所 地域課						
	河川維持事業(渥美支所)		6,480,742	2	前川 博久						
			20,916,718	3	高い						
			14,374,320	4	高い						
	6,542,398	5	普通					改善の効果	普通		
27	港湾・河川・海岸の整備	津波、高潮、波浪などからの被害を防ぐとともに、海岸環境の保全に努め、海岸の適正な利用が行われるよう総合的な管理を行う。	7,948,152	事務事業評価					災害時に樋門操作を迅速に行う体制づくりが課題である。また、赤羽根ロコパークの利用者が快適に利用できるよう適正な維持管理が必要である。	樋門操作マニュアルを活用し、適切な管理体制、災害時に迅速な対応ができるよう努めた。また、赤羽根ロコパークについては、市囃託員とシルバー人材センターで作業範囲を調整しながら行うことでコスト削減に努めた。	樋門操作については引き続き、職員と受託者との連携を密にし、災害時に迅速な対応ができるよう努める。竣工して10年が経つ赤羽根ロコパークについては、管理体制を見直し、適正かつ効率的な維持管理を行う。
	40304010		4,103,067	1	建設部 維持管理課						
	海岸管理事業		3,845,085	2	伊藤 敏和						
			8,173,761	3	高い						
			3,852,737	4	高い						
	4,321,024	5	普通					改善の効果	高い		
28	市街地の整備	うるおいと活力のあるガーデンシティを実現するため、都市計画法に基づき、まちづくりに関する各種調査や企画、調整及び決定手続きを行う。	22,786,480	事務事業評価					平成28年3月策定の田原市都市計画マスタープランに挙げられた事業について、実施の検討を継続的に行う必要がある。	田原市街地拡大の事業化に向けて、調査結果を分析し、事業候補地を選定した。 ・立地適正化計画(案)を策定し、居住誘導区域、都市機能誘導区域、誘導施設を決定した。	市街地拡大事業は、長期的展望に立ちながら事業化に向けて、地元調整や市街化編入の手続きを行っていく。 ・立地適正化計画は、令和元年度中にパブリックコメントを実施し、計画に沿った居住および都市機能の誘導を行っていく。
	40401010		11,127,874	1	都市整備部 街づくり推進課						
	都市計画推進事業		11,658,606	2	小久保 智宏						
			19,056,836	3	極めて高い						
			9,172,721	4	高い						
	9,884,115	5	普通					改善の効果	極めて高い		

No	施策名		事務事業の目的	H29決算額(円)		事務事業評価		事務事業の現状・課題	平成30年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果	令和元年度以降の課題解決に向けた取組方針(今後3~5年程度をイメージ)
	事務事業コード	事務事業名		内 直接事業費	内 人件費	1 担当部課名	2 評価責任者氏名			
29	40402010	市街地の整備 田原市の顔である田原地区中心市街地の魅力を高め、活性化を推進するため、市街地の整備・改善に関する事業等の検討を行うとともに、地域のまちづくりを担う人材等の育成に努める。	129,458,847	事務事業評価	田原市中心市街地活性化基本計画に基づき、平成28年度から5か年計画で市街地整備等事業に取り組んでいる。 ・最大限の事業効果を発揮するため、各事業を効果的・効率的に実施していく必要がある。	平成30年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果	令和元年度以降の課題解決に向けた取組方針(今後3~5年程度をイメージ)			
			110,376,554	1 都市整備部 街づくり推進課						
			19,082,293	2 小久保 智宏						
			928,920,722	3 高い						
			914,887,757	4 高い						
30	40402020	市街地の整備 田原市のサブ拠点として位置づけられている赤羽根地区の市街地において、住民の日常生活を支える商業、行政、福祉、医療、居住等の機能を高めて住み良いまちを実現する。	6,625,509	事務事業評価	赤羽根地区まちづくりビジョンの実現に向け、地域の赤羽根地区まちづくり推進委員会を主体としてまちづくり事業を進める必要がある。 ・赤羽根地区都市再生整備計画事業の内容を着実に実施する必要がある。	地区まちづくり推進委員会の3部会に分かれ、赤羽根地域のまちなかMAPの作成、展望台の整備等を実施した。	赤羽根地区まちづくり推進委員会を主体としてまちづくり事業を進めていく。			
			3,819,560	1 都市整備部 街づくり推進課						
			2,805,949	2 小久保 智宏						
			8,344,228	3 高い						
			753,840	4 高い						
31	40402030	市街地の整備 福江市街地のレクリエーションの場、生活環境及び安全性等都市機能の向上を図る都市公園等の整備を行う。また、拠点の市民館を中心に、地域の活性化を図るための検討及び施設整備を行う。	128,827,644	事務事業評価	平成30年度で福江・清田地区の社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)の事業期間が終了したため、事業効果を見定める必要がある。また今後、ショップレイ周辺の整備構想案を策定し調査を進めて行く必要がある。	散策路や散策路案内板の整備、また親水空間の整備を実施し、地域住民や来訪者に対して、賑わいのある憩いの場を含めた交流の場を提供した。	平成30年度で社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)の事業期間が終了したが、今後はショップレイ周辺の整備構想案を策定し、この地域の具体的な活性化の検討を、地域や地元商工業者等と一緒に進めて行く必要がある。			
			118,442,011	1 都市整備部 街づくり推進課						
			10,385,633	2 小久保 智宏						
			60,724,402	3 高い						
			49,875,343	4 高い						
32	40403030	市街地の整備 市民協働による市街化区域の都市基盤の形成を行うにあたり、総合的かつ面的に整備する手法である土地区画整理事業を促進するため、田原市組合施行土地区画整理事業助成方針に基づき、現在施行中の浦片地区の健全な組合運営、計画中の地区の組合設立準備に対し支援を行う。	19,334,104	事務事業評価	浦片地区については、住宅用地は平成27年度に完売し、企業用地は11区画中、残り7区画となっている。組合の解散に向けて企業用地の販売が課題である。 ・赤羽根地区については、平成29年度末に組合が認可されたが、事業の円滑な実施のため、引き続き各種支援を行う必要がある。	企業立地推進室が行う企業誘致活動で企業用地のPR活動を行い、また組合役員と地元企業を直接訪問し営業活動を行った。 ・赤羽根地区の土地区画整理組合が設立され、仮換地指定や整地工事に向けた業務支援を行った。	浦片地区は、引き続き情報の収集・発信を行い、企業立地担当及び組合役員とともに積極的に企業誘致活動を行っていく。 ・赤羽根地区は、事業計画どおり事業が進捗するよう引き続き各種支援を行っていく。 ・天白地区の市街地拡大事業は、事業スキームの精査や地元調整を行っていく。			
			6,370,683	1 都市整備部 街づくり推進課						
			12,963,421	2 小久保 智宏						
			21,533,006	3 高い						
			532,357	4 高い						
33	40501010	地域・住環境の整備 農村の総合的な振興を図るため、農業生産基盤の整備を行う。また、これと関連をもつ農村の基礎的な生活環境の整備を総合的に実施し、活力と個性のある地域づくりを目指すため、道路、排水路、防災施設及び自然環境・生態系保全施設整備等を行う。	121,614,490	事務事業評価	整備対象地区の農業生活基盤を総合的に整備し、農業者及び農村居住者が住みよい居住環境への改善を図る。	大草・高松地区、東部地区において、農業排水路整備工事等を実施し、地域住民の安心安全、快適な生活環境を確保した。	農地耕作条件改善事業交付金及び農山漁村地域整備交付金の活用により、農村振興総合整備事業の推進を図る。			
			106,981,094	1 産業振興部 農政課						
			14,633,396	2 河邊 俊和						
			68,443,788	3 普通						
			53,895,780	4 普通						
34	40502010	地域・住環境の整備 田原市東部太平洋岸総合整備促進協議会の事業運営を支援し、海岸侵食対策、自然環境の保全と活用、農地の基盤整備、農村環境の改善などについて関係地域の総合的な課題解決を図る。	3,555,872	事務事業評価	表浜自然ふれあいフェスティバルの開催支援、県への要望活動、谷ノロ総合整備促進協議会の活動支援を行なっている。 ・海岸整備促進につながる効果的な手法を検討する必要がある。	情報誌「潮騒」の発行や表浜自然ふれあいフェスティバルを開催し、海岸侵食が進む表浜の現状と自然の魅力をPRした。 ・要望会の日程について、要望先の予算編成前に時期を変更し、効果的な要望を行った。	アクションプランに沿って、東部太平洋岸地域のつながりを深め、協議会と行政が一体となり継続して県への要望活動を行い整備促進を図る。 ・谷ノロ公園で行われる表浜自然ふれあいフェスティバルのあり方を検証し、リニューアルを図る。			
			450,000	1 企画部 企画課						
			3,105,872	2 大羽 浩和						
			4,390,194	3 高い						
			450,000	4 高い						
35	40503010	地域・住環境の整備 少子高齢化・人口減少社会に対応した居住環境の整備を図るため、公的宅地の供給や空き家・空き地バンク制度の活用により市内への定住を誘導し、安全で住みやすいまちづくりを推進する。	11,682,174	事務事業評価	平成29年度の空き家実態調査により491件の空き家を把握しているが、今後も急速に増加するものと予測される。 不良住宅の解体のほか、空き家の有効活用を図る必要がある。	空家等対策計画の策定、空家等の適正管理に関する条例を制定した。 条例では、人の生命、財産に重大な損害を及ぼす等の危険な状態が切迫している場合には、緊急安全措置を講ずる事ができるとした。	令和元年度から解体補助制度を創設し、不良住宅の早期解消と跡地の有効活用を図っている。今後は空き家を住宅ストックとして有効活用できるよう、新たな制度や仕組みを構築する必要がある。			
			7,405,586	1 都市整備部 建築課						
			4,276,588	2 稲垣 守泰						
			26,447,905	3 極めて高い						
			6,749,733	4 高い						

No	施策名	事務事業の目的	H29決算額(円)	事務事業評価					事務事業の現状・課題	平成30年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果	令和元年度以降の課題解決に向けた取組方針 (今後3~5年程度をイメージ)						
	事務事業コード		内 直接事業費	1	担当部課名	2	評価責任者氏名	3				妥当性評価	4	有効性評価	5	効率性評価	
事務事業名		公共下水道事業の適正かつ健全な運営を行う。	H30決算額(円)	事務事業評価					地方公営企業法適化支援業務において固定資産調査・評価、下水道台帳整備を進めるとともに公営企業会計システムを構築し、地方公営企業法の適用に向け準備を進めた。	地方公営企業法の適用により経営内容を明確化し、下水道事業経営の健全性を確保する。また、接続推進を図るとともに、適正な使用料について検討する。							
			内 直接事業費	1	水道部	下水道課	2	中神 嘉彦			3	高い	4	高い	5	普通	
50	上下水道の整備	公共下水道事業の適正かつ健全な運営を行う。	81,655,729	事務事業評価					負担金等や使用料の賦課徴収、排水設備の確認、決算統計、消費税申告等の経常的な業務を限られた人員で効率的に実施する必要がある。また、人口減や施設の更新時期到来等に対し適切に対応するため、下水道事業における経営状況の把握が必要となる。	地方公営企業法適化支援業務において固定資産調査・評価、下水道台帳整備を進めるとともに公営企業会計システムを構築し、地方公営企業法の適用に向け準備を進めた。	地方公営企業法の適用により経営内容を明確化し、下水道事業経営の健全性を確保する。また、接続推進を図るとともに、適正な使用料について検討する。						
	40604040		64,384,696	1	水道部	下水道課	2	中神 嘉彦				3	高い	4	高い	5	普通
	公共下水道運営事業		17,271,033	2	中神 嘉彦	3	高い	4				高い	5	普通			
			48,998,861	3	高い	4	高い	5				普通					
			34,010,028	4	高い	5	普通										
		14,988,833	5	普通													
				改善の効果		高い											
51	上下水道の整備	雨水の適正な排除を行うため、雨水ポンプ場及び雨水排水路等の維持管理を行う。	37,908,078	事務事業評価					施設の老朽化による機器の更新及び改良が必要である。 計画的な更新改良により、機器の延命化を図り、施設の機能を維持していく必要がある。 降雨時の速やかな対応が必要である。	設備機器の計画的な維持管理を実施し、施設の機能を保持した。	施設の老朽化が進む中、計画的な整備機器の更新改良が必要である。また、設備機器の延命化を図り、施設の機能を維持し、適正な管理に努め、機器の故障等による事故及び浸水による被害を未然に防ぐ。						
	40604060		33,523,377	1	水道部	下水道課	2	中神 嘉彦				3	高い	4	高い	5	高い
	雨水排水施設維持管理事業		4,384,701	2	中神 嘉彦	3	高い	4				高い	5	高い			
			29,867,940	3	高い	4	高い	5				高い					
			22,543,000	4	高い	5	高い										
		7,324,940	5	高い													
				改善の効果		高い											
52	上下水道の整備	生活環境の向上や公共用水域の水質保全を図るため、下水道施設の適正な維持管理を行う。	319,451,736	事務事業評価					恒久的、持続的に維持管理していく上で、事業目的を達成するには、多大な経費が必要であり、合わせて施設の劣化は年々進むため、維持管理・修繕にも経費がかかる。	設備機器の計画的な維持管理を実施し、施設の機能を保持できた。 包括的民間委託により、適切に管理された。	包括的民間委託の受注者を適切に管理し、より適正な維持管理ができるように努める。						
	40604070		305,003,852	1	水道部	下水道課	2	中神 嘉彦				3	高い	4	高い	5	高い
	汚水処理施設維持管理事業		14,447,884	2	中神 嘉彦	3	高い	4				高い	5	高い			
			338,546,686	3	高い	4	高い	5				高い					
			329,196,023	4	高い	5	高い										
		9,350,663	5	高い													
				改善の効果		高い											
53	上下水道の整備	農村地域の住環境の整備とともに公共用水域の水質改善を図るため、市内農村地域の生活排水整備を計画的に行う。	22,073,401	事務事業評価					白谷地区及び六連地区の処理場の設備機器が老朽化しているため、機能強化事業を実施する。	六連地区の処理場の機能強化を実施するにあたり、強化方法までの検討が出来た。 泉南部の門扉の修繕を行った。	白谷地区の農業集落排水施設の機能強化を図るため、R1で機能強化工事を行う。 六連地区に関しても白谷地区と同じくR2行う。 今後他地区の機能強化を進めるうえで必要となる最適整備構想を2ヶ年に分けて16地区策定する。						
	40605030		17,612,640	1	水道部	下水道課	2	中神 嘉彦				3	極めて高い	4	極めて高い	5	極めて高い
	農業集落排水施設整備事業		4,460,761	2	中神 嘉彦	3	極めて高い	4				極めて高い	5	極めて高い			
			26,671,960	3	極めて高い	4	極めて高い	5				極めて高い					
			21,462,840	4	極めて高い	5	極めて高い										
		5,209,120	5	極めて高い													
				改善の効果		高い											
54	上下水道の整備	事業経営の安定化に向け、農業集落排水の接続を推進すること等により財源の確保を図り、農業集落排水事業の適正かつ健全な管理運営を行う。	39,664,471	事務事業評価					分担金や使用料の賦課徴収、排水設備の確認、決算統計、消費税申告等の経常的な業務を限られた人員で効率的に実施する必要がある。また、人口減や施設の更新時期到来等に対し適切に対応するため、下水道事業における経営状況の把握が必要となる。	地方公営企業法適化支援業務において固定資産調査・評価、下水道台帳整備を進めるとともに公営企業会計システムを構築し、地方公営企業法の適用に向け準備を進めた。	地方公営企業法の適用により経営内容を明確化し、事業経営の健全性を確保する。また、接続率の低い地区を中心に接続推進を図るとともに、適正な使用料について検討する。						
	40606030		22,122,516	1	水道部	下水道課	2	中神 嘉彦				3	高い	4	高い	5	普通
	農業集落排水運営事業		17,541,955	2	中神 嘉彦	3	高い	4				高い	5	普通			
			73,619,994	3	高い	4	高い	5				普通					
			58,660,702	4	高い	5	普通										
		14,959,292	5	普通													
				改善の効果		高い											
55	上下水道の整備	農業集落における生活環境の向上や農地及び公共用水域の水質保全を図るため、農業集落排水施設の適正な維持管理を行う。	277,128,121	事務事業評価					施設及び機器の老朽化が進んでいるため、計画的な更新改良により延命化を図り、施設の機能を維持していく必要がある。	一部の農業集落排水区域を公共下水道区域に切り替え維持管理費の削減を図った。 施設維持管理については専門業者に委託し、適切に管理した。	処理施設の計画的な維持修繕工事を行い、施設機能の延命化を図る。						
	40606040		262,713,355	1	水道部	下水道課	2	中神 嘉彦				3	高い	4	高い	5	高い
	農業集落排水施設維持管理事業		14,414,766	2	中神 嘉彦	3	高い	4				高い	5	高い			
			344,366,587	3	高い	4	高い	5				高い					
			333,566,875	4	高い	5	高い										
		10,799,712	5	高い													
				改善の効果		高い											
56	上下水道の整備	生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図るため、便槽トイレ及び仮設トイレの生し尿を収集する。し尿及び浄化槽汚泥の適正な処理を行うとともに施設の安全かつ適正な維持管理に努める。	64,526,421	事務事業評価					し尿収集業務は市民生活に不可欠であるため、引き続き円滑に実施していく。 施設の老朽化や、し尿等の処理量の減少により安定的な処理が難しい状態となっているため、施設の維持管理及び処理方法を検討する必要がある。	未水洗化世帯の減少により収集世帯等が点在しているが、収集作業を集約し効率化に努めた。また、処理機械・設備等の修繕工事や部品交換等を行い、安定的な処理を行った。	収集世帯の減少と農業等の仮設トイレの増加により点在化が進むことが予想されるが、収集業務の集約化に努める。 共同処理開始に伴う業務体制及び、し尿処理施設の廃止に向けたし尿及び浄化槽汚泥の処理、施設の撤去工事等の検討を行う。						
	40607010		25,604,897	1	水道部	下水道課	2	中神 嘉彦				3	極めて高い	4	高い	5	高い
	し尿収集処理運営事業		38,921,524	2	中神 嘉彦	3	極めて高い	4				高い	5	高い			
			66,774,016	3	極めて高い	4	高い	5				高い					
			31,291,742	4	高い	5	高い										
		35,482,274	5	高い													
				改善の効果		高い											

No	施策名	事務事業の目的	H29決算額(円)	事務事業評価					事務事業の現状・課題	平成30年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果	令和元年度以降の課題解決に向けた取組方針(今後3~5年程度をイメージ)			
	事務事業コード		内 直接事業費	1	担当部課名	2	評価責任者氏名	3				妥当性評価	4	有効性評価
事務事業名		H30決算額(円)												
		内 直接事業費												
		内 人件費												
57	上下水道の整備	し尿処理施設は昭和41年に建設され供用開始から約50年が経過しており、老朽化が進み適正な処理ができなくなる恐れがあるため、衛生センターのし尿・浄化槽汚泥の処理を受入れるためのし尿処理施設の整備を行う。	5,573,800	事務事業評価					<ul style="list-style-type: none"> 公共下水道へのし尿投入の検討及び、下水道(し尿等受入施設)基本計画を作成した。(29年度から繰越) 公共下水道赤羽根浄化センターし尿等受入施設建設のための基本設計及び詳細設計を行った。 地元住民を対象に説明会を開催した。 	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度中のし尿等の受入開始に向け、受入施設の建設、場内整備等の工事を計画どおり進める。 受入施設の新築に伴い、進入用道路の拡幅等周辺環境の整備を行う。 工事中は、周辺環境に影響が及ばないように十分に配慮し、地元住民に対し必要な情報は周知する。 				
	40607040		4,000,000	1	水道部	下水道課	2	中神 嘉彦			3	極めて高い	改善の効果	高い
	し尿処理施設整備事業		1,573,800	2	中神 嘉彦	3	極めて高い	改善の効果			高い			
			50,743,716	3	極めて高い	改善の効果	高い							
			46,490,000	4	高い	改善の効果	高い							
		4,253,716	5	高い	改善の効果	高い								
58	自然環境の保全	市民と協働して地域の里山を保全するとともに、里山の保全に関する知識・技能を習得した人材の育成を図る。	1,795,538	事務事業評価					<ul style="list-style-type: none"> 「たはら里山の会」による里山保全スキルアップ研修会を毎月開催 里山保全活動団体の自立、人材育成が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> スキルアップ研修会の継続開催及び研修内容の充実 				
	40701010		566,822	1	都市整備部	街づくり推進課	2	小久保 智宏			3	普通	改善の効果	普通
	里山保全推進事業		1,228,716	2	小久保 智宏	3	普通	改善の効果			普通			
			730,047	3	普通	改善の効果	普通							
			81,589	4	普通	改善の効果	普通							
		648,458	5	普通	改善の効果	普通								
59	自然環境の保全	林道は、森林保全整備のために不可欠な道路であるとともに、昨今は地域住民が散策路として利用するなど地域に必要な道路となっている。しかし、山中の道路は破損等が生じやすいため、常に適正で良好な状態を維持することを目的として、整備や補修等を行う。	8,270,047	事務事業評価					<ul style="list-style-type: none"> 林道(衣笠線・芦西浦線)の保全管理のため、草刈等を委託し、維持管理を図った。 林道山田線の雨水等による洗掘による破損を改修し、維持管理を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> 林道を保全するため、古い基準で整備された舗装部分を、順次補修していく必要がある。 林道の保存のための継続的な維持管理を実施する。 				
	40701020		6,266,770	1	産業振興部	農政課	2	河邊 俊和			3	普通	改善の効果	高い
	林道整備事業		2,003,277	2	河邊 俊和	3	普通	改善の効果			高い			
			2,627,877	3	普通	改善の効果	高い							
			1,191,194	4	普通	改善の効果	高い							
		1,436,683	5	普通	改善の効果	高い								
60	自然環境の保全	本市の松林は、潮害防備、風害防備等多面的な機能を担っている。この松林を保全するため、松くい虫防除対策として薬剤空中散布及び伐倒駆除を実施するとともに、薬剤樹幹注入を行い松の抵抗性を高めることで保安林の再生や機能維持を図る。	26,691,449	事務事業評価					<ul style="list-style-type: none"> 西の浜保安林は松くい虫の影響により失われつつある。 この保安林の持つ公益的機能(飛砂防備等)を維持し、農村環境及び農地の保全を図り、本市の農業を持続的なものとするため、松くい虫防除を継続して実施する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 国の補助金を活用し、松枯れの原因となるセンチユウを媒介する昆虫駆除事業を実施し、保安林の維持を図った。 また、被害木の伐倒により、媒介昆虫の駆除に努め、被害拡大を防いだ。 				
	40701030		23,022,793	1	産業振興部	農政課	2	河邊 俊和			3	高い	改善の効果	高い
	森林病害虫防除事業		3,668,656	2	河邊 俊和	3	高い	改善の効果			高い			
			24,379,221	3	高い	改善の効果	高い							
			19,607,167	4	高い	改善の効果	高い							
		4,772,054	5	高い	改善の効果	高い								
61	自然環境の保全	東三河地域の森林は、田原市のみならず豊川流域市町村の大切な財産である。この財産を流域市町全体で保全することを目的として、東三河農林水産事務所管内の森林振興にかかる諸活動(事業、調査、研修等)を行う。また、松くい虫によって枯死した地域の松林を復元するため、抵抗性松を配布する。	4,948,738	事務事業評価					<ul style="list-style-type: none"> 保安林の効果的な保全管理方法を模索するため、森林の植生調査を実施した。 抵抗性松を確保し、地元と小学校の協力により、抵抗性松を児童の記念植樹として保安林の復元を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> 継続的に抵抗性松を確保し、森林(保安林等)の早期復元に努める。松林の植生調査を実施し、健全な森林環境のより効果的な保全管理を実施する。 				
	40701040		2,481,386	1	産業振興部	農政課	2	河邊 俊和			3	普通	改善の効果	高い
	森林整備促進事業		2,467,352	2	河邊 俊和	3	普通	改善の効果			高い			
			5,445,659	3	普通	改善の効果	高い							
			2,465,843	4	普通	改善の効果	高い							
		2,979,816	5	普通	改善の効果	高い								
62	自然環境の保全	動植物の保護及び生息調査を行うことにより、動植物の保全を図る。鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化を図り、もって生物の多様性の確保を図る。特定外来生物を駆除し、その生息域の拡大を防止し、生活環境と生物多様性の保全を図る。	19,881,014	事務事業評価					<ul style="list-style-type: none"> アカウミガメの保護団体が行う保護・調査活動の支援。 田原市アルゼンチンアリ対策協議会への補助金を交付。(補助率10分の10) 自治会、地域住民、行政が一体となって一斉防除等を実施し、個体数の低減が図られているが、根絶には至っていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 協議会によるアルゼンチンアリの一斉防除を実施し、生活環境被害の低減、生息域の拡大抑制等の効果が確認された。また、薬剤を他の自治体で効果的であったものに変更し、生息域内部の防除に加え、生息域外縁部の重点防除を行った。 				
	40702010		11,569,325	1	市民環境部	環境政策課	2	伊藤 弘子			3	高い	改善の効果	高い
	動植物保全対策事業		8,311,689	2	伊藤 弘子	3	高い	改善の効果			高い			
			19,535,842	3	高い	改善の効果	高い							
			12,314,722	4	高い	改善の効果	高い							
		7,221,120	5	普通	改善の効果	高い								
63	緑と景観の保全	田原市の優れた景観を資産として生かし、美しい渥美半島を次世代に継承するため、景観施策を実施するとともに、渥美半島菜の花浪漫街道の普及・啓発等を行う。	1,909,665	事務事業評価					<ul style="list-style-type: none"> 景観施策の周知・普及・啓発を行っており、そのなかで、地域が取り組む景観に配慮したまちづくり活動に対する支援を行っている。 良好な景観形成及び戦略的に景観を活用したまちづくりを進めていくため、景観行政の方向性を整理していく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域(福江地区等)が取り組む景観まちづくり活動に対する支援を行い、地域主体の景観形成が図られている。 渥美半島菜の花浪漫街道事業の普及・啓発を行い、関係者間の景観に対する意識の共有、活動の推進に取り組んだ。 				
	40801010		52,270	1	都市整備部	街づくり推進課	2	小久保 智宏			3	高い	改善の効果	普通
	街並景観保全事業		1,857,395	2	小久保 智宏	3	高い	改善の効果			普通			
			3,290,780	3	高い	改善の効果	普通							
			316,170	4	高い	改善の効果	普通							
		2,974,610	5	普通	改善の効果	普通								

No	施策名	事務事業の目的	H29決算額(円)	事務事業評価					事務事業の現状・課題	平成30年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果	令和元年度以降の課題解決に向けた取組方針(今後3~5年程度をイメージ)		
	事務事業コード		内 直接事業費	1	担当部課名	2	評価責任者氏名	3				妥当性評価	4
	事務事業名		H30決算額(円)										
			内 直接事業費	1	2	3	4	5					
			内 人件費	1	2	3	4	5					
64	緑と景観の保全	市民の緑化への関心を高めるとともに、市民との協働により市内の緑化を推進し、うるおいと活力のあるガーデンシティを目指す。	21,264,283	事務事業評価					・緑化推進委員会を中心とした市民緑花まつり実行委員会が主体となり、市民緑花まつりを開催した。 ・緑化推進委員による花壇コンクール審査を実施 ・沿道花壇の登録は、増加しているが奨励花壇の登録が減少している。	市民緑花まつりを5月4日(みどりの日)にサンテパルクたはらで開催(3年目)し、来場者数が16,600人から17,200人に増加した。 ・春、秋の花苗配布を実施した。	市民緑花まつり実行委員会をイベントの運営主体として組織強化を図る。 ・各校区における奨励花壇管理面積の減少に歯止めをかけるため、新たな管理者の発掘や委託を含めた別手法による花壇管理を模索する。		
	40802010		9,382,886	1	都市整備部	街づくり推進課							
	緑化推進事業		11,881,397	2	小久保 智宏								
			19,695,924	3	高い								
			8,196,370	4	高い								
			11,499,554	5	高い								
									改善の効果	高い			
65	緑と景観の保全	緑花センターにおいて奨励花壇、沿道花壇、公共花壇に植える花苗を生産し、うるおいと活力のあるガーデンシティを目指し、花いっぱい運動を展開する。	30,079,806	事務事業評価					・緑化推進、花いっぱい運動の推進拠点として運営体制の改善が必要である。 ・花苗配布をした花壇管理者へのポット鉢及びトレイ返却の徹底が必要である。 ・沿道花壇の除草等の管理体制の検討が必要である。	花苗配布によるポット鉢及びトレイの返却が徹底された。 ・沿道花壇の除草等の管理体制を検討した。	・育苗に関する専門性を高め、花苗の質の向上、育苗コストの削減に取り組む。 ・緑花センターでの生産による花苗の供給体制について、検討する。		
	40802020		13,344,647	1	都市整備部	街づくり推進課							
	緑花センター運営事業		16,735,159	2	小久保 智宏								
			29,964,716	3	高い								
			13,432,152	4	高い								
			16,532,564	5	普通								
									改善の効果	普通			
66	緑と景観の保全	市民のレクリエーション活動の場の確保、生活環境の保全、都市の安全性の向上及び良好な都市景観の形成などの観点により公園・緑地の整備を図る。	77,976,233	事務事業評価					・サーフタウン構想の動向や地域意見を踏まえ、(仮称)弥八島海浜公園について、整備計画を構築する必要がある。	・(仮称)弥八島海浜公園のサウンディング型市場調査の実施、及び展望デッキの整備を行った。	・(仮称)弥八島海浜公園について、サーフタウン構想の重点整備地区として民間活用を進める。		
	40803020		66,067,485	1	都市整備部	街づくり推進課							
	公園緑地整備事業(40803010、40803020、40803030)		11,908,748	2	小久保 智宏								
			50,043,053	3	高い								
			35,534,133	4	高い								
			14,508,920	5	高い								
									改善の効果	高い			
67	緑と景観の保全	滝頭公園の維持管理を委託し、民間の能力を活用することによる管理経費の削減と、利用者が安全で安心して楽しく利用できるように施設管理を行う。	21,854,593	事務事業評価					・利用者が安心・安全で楽しく利用できる公園にするための維持管理が必要である。	・老朽化した設備の修繕、定期的な除草作業等を行い、利用者の利便性を図った。	・利用者が安心・安全で楽しく利用できる公園を目指し、適切な維持管理を行う。		
	40804010		20,317,638	1	都市整備部	街づくり推進課							
	滝頭公園管理事業		1,536,955	2	小久保 智宏								
			22,488,323	3	高い								
			20,874,146	4	高い								
			1,614,177	5	普通								
									改善の効果	普通			
68	緑と景観の保全	白谷海浜公園の維持管理を委託し、民間の能力を活用することによる管理経費の削減と、利用者が安全で安心して楽しく利用できるように施設管理を行う。	22,330,431	事務事業評価					・利用者が安心・安全で楽しく利用できる公園にするための維持管理が必要である。	・公園内の修繕、除草作業を行い、利用者の利便性を図った。	・利用者が安心・安全で楽しく利用できる公園を目指し、適切な維持管理を行う。		
	40804020		20,793,476	1	都市整備部	街づくり推進課							
	白谷海浜公園管理事業		1,536,955	2	小久保 智宏								
			22,480,101	3	高い								
			20,865,924	4	高い								
			1,614,177	5	普通								
									改善の効果	普通			
69	緑と景観の保全	緑が浜公園及び緑が浜2号緑地の維持管理を委託し、民間の能力を活用することによる管理経費の削減と、利用者が安全で安心して楽しく利用できるように施設管理を行う。	11,526,868	事務事業評価					・利用者が安心・安全で楽しく利用できる公園にするための維持管理が必要である。	・老朽化した設備の修繕、定期的な除草作業等を行い、利用者の利便性を図った。	・利用者が安心・安全で楽しく利用できる公園を目指し、適切な維持管理を行う。		
	40804030		10,133,446	1	都市整備部	街づくり推進課							
	緑が浜公園管理事業		1,393,422	2	小久保 智宏								
			18,706,415	3	高い								
			11,286,583	4	高い								
			7,419,832	5	普通								
									改善の効果	普通			
70	緑と景観の保全	公園、緑地、緑道等について、樹木の管理、除草、トイレ清掃等を行い、利用者が安全で安心して利用できる施設管理を行う。	63,555,368	事務事業評価					平成30年度より中央公園管理事業を統合した。利用者が安心・安全で楽しく利用でき、また、景観を損ねない公園、緑地、緑道となるように維持管理が必要である。	定期的な除草、剪定、トイレ清掃等を行い、利用者が安心して利用することができた。	利用者が安心・安全で楽しく利用できる公園、緑地、緑道を目指し、除草や樹木剪定、老朽化した設備の修繕等適切な維持管理を行う。		
	40804050		41,753,990	1	建設部	維持管理課							
	都市公園等管理事業		21,801,378	2	伊藤 敏和								
			62,007,695	3	高い								
			48,024,419	4	高い								
			13,983,276	5	普通								
									改善の効果	高い			

No	施策名	事務事業の目的	H29決算額(円)	事務事業評価					事務事業の現状・課題	平成30年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果	令和元年度以降の課題解決に向けた取組方針 (今後3~5年程度をイメージ)				
	事務事業コード		内 直接事業費	1	担当部課名	内 人件費	2	評価責任者氏名				H30決算額(円)	3	妥当性評価	内 直接事業費
71	緑と景観の保全	初立池公園は、豊川用水の最終調整池を含む自然豊かな公園であり、市民の余暇活動等の推進を図る施設として、安全で楽しく利用できるよう適正な管理を行う。	12,004,991	事務事業評価					知名度が低いため、比較的、来園者数が少ない。しょうぶ園に防草シートの部分が残っている等、景観として未完成である。	ホームページでしょうぶ園の開花状況の随時配信を行い、PRに努めた。しょうぶ園の竹柵、通路の整備を行い、現場の改善に努めた。	今後も竹柵等の整備を進め、景観として完成させる。またダムカードなどを作成し、初立池の知名度を高める。				
	40804060		7,443,090	1	渥美支所 地域課	4,561,901	2	前川 博久							
	初立池公園管理事業		11,828,234	3	高い	7,758,557	4	高い							
			4,069,677	5	普通										
													改善の効果	普通	
72	緑と景観の保全	臨海緑地の維持管理を委託し、民間の能力を活用することによる管理経費の削減と、利用者が安全で安心して楽しく利用できるように施設管理を行う。	34,393,621	事務事業評価					緑地としての機能を保持するため、継続的な維持管理が必要である。	定期的に緑地内の除草、消毒等を実施した。	公害防止としての緩衝緑地の目的だけでなく、安心・安全で心にゆとりを与えるような緑地となるように、維持管理を行う。				
	40804070		33,000,199	1	都市整備部 街づくり推進課	1,393,422	2	小久保 智宏							
	臨海緑地管理事業		34,506,764	3	高い	33,000,199	4	高い							
			1,506,565	5	普通										
												改善の効果	普通		
73	緑と景観の保全	公園、緑地、緑道等について、樹木の管理、除草、トイレ清掃等を行い、利用者が安全で安心して利用できる施設管理を行う。	14,181,770	事務事業評価					施設が老朽化しているため、来園者に危険の無いよう適切に維持管理していく必要がある。多くの部分で現場の嘱託員、臨時職員任せになっているため、職員による指導が行き届かず、非効率な部分がある。	嘱託員、臨時職員に対し、現場確認などの立ち合いを行い作業を指示した事により、きめ細やかな管理に努める事が出来た。また、ミーティングにより反省点や、明日の予定を確認し、効率的な作業計画をたて、適切な維持管理が実施できた。	公園の利用者が安心安全で快適に利用できるように施設の老朽化状況を把握し、より良い適切な維持管理を行う。				
	40804080		2,398,607	1	渥美支所 地域課	11,783,163	2	前川 博久							
	都市公園等管理事業 (渥美支所)		14,674,054	3	高い	3,277,379	4	高い							
			11,396,675	5	普通										
												改善の効果	普通		
74	緑と景観の保全	児童に身近で安全な遊びの場を提供し、健康の増進や豊かな情操を養うとともに、乳幼児を持つ保護者相互の交流の場づくり(孤立化防止)として、児童遊園の適正な維持管理を行う。	1,907,642	事務事業評価					安全第一の観点により危険度の高い遊具から優先的に修繕、撤去を実施するとともに、地域との協働による地域管理委託を継続して管理コストの抑制に努める。	危険なブロック塀を撤去・新設や、危険度の高い遊具の修繕をするなど施設整備を行い、遊園利用における児童の安全確保を図ることができた。	安全第一の観点により危険度の高い遊具から優先的に修繕、撤去を実施するとともに、撤去により児童遊園として必要となる新規遊具の設置を検討する。				
	40804090		907,731	1	健康福祉部 子育て支援課	999,911	2	河口 浩							
	児童遊園管理事業		2,679,567	3	普通	1,736,212	4	普通							
			943,355	5	普通										
												改善の効果	普通		
75	緑と景観の保全	谷ノ口公園の維持管理を委託し、民間の能力を活用することによる管理経費の削減と、利用者が安全で安心して楽しく利用できるように施設管理を行う。	7,517,391	事務事業評価					利用者が安心・安全で楽しく利用できる公園にするための維持管理が必要である。	公園内の除草、剪定等を行い、利用者の利便性を図った。	利用者が安心・安全で楽しく利用できる公園を目指し、適切な維持管理を行う。 ・指定管理料の削減を図る。				
	40804100		6,748,914	1	都市整備部 街づくり推進課	768,477	2	小久保 智宏							
	谷ノ口公園管理事業		8,265,043	3	高い	6,758,478	4	高い							
			1,506,565	5	普通										
												改善の効果	普通		